2021年4月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 閣僚の交代
- (2) 食糧生産促進措置の承認
- (3) 第8回共産党大会の開催

2 外交

- (1) ディアスカネル大統領とボリソフ・ロシア副首相との会談
- (2) 中国による新型コロナウイルス対策に係る支援
- (3) バトツェツェグ・モンゴル外務大臣との会談
- (4) 米国務省人権報告書に対する非難メッセージの発出
- (5) 保健医療分野に関するキューバ・モンゴル間の協力
- (6) インドネシア及び東ティモールに対するお見舞いメッセージの発出
- (7) キューバ・イラン外務省政策協議
- (8) ガボンへの医療団派遣
- (9) マレー口首相の経済社会理事会ハイレベル・セグメントへの出席
- (10) ジョセフ・グレナダ外務大臣との会談
- (11) ロドリゲス外務大臣のイベロアメリカ外相会合出席
- (12) ディアスカネル第一書記就任に対する祝辞
- (13) パナマによる新型コロナウイルス対策に係る支援
- (14) チャヴシュオール・トルコ外務大臣との会談
- (15) 宇都副大臣との会談
- (16) ディアスカネル大統領のイベロアメリカサミット出席
- (17) セント・ビンセント及びグレナディーン諸島への人道支援
- (18) チェット・グリーン・アンティグア・バーブーダ外務大臣との会談
- (19) ロシアによる支援
- (20) キューバ・ウクライナ政策協議
- (21) 「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト」への出席
- (22) キューバ・メキシコ首脳電話会談
- (23) 韓国による新型コロナウイルス対策に係る支援
- (24) キューバ・クロアチア第2回政策協議
- (25) キューバ・ドミニカ間の保健分野に関する覚書署名
- (26) ソラー・アルゼンチン外務・通商・宗務大臣との会談
- (27) マレー口首相のユーラシア経済連合首脳会議出席

(28) 新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

3 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（4月30日23：59時点）
- (2) キューバにおけるワクチン開発
- (3) キューバにおける変異株拡大

【本文】

1 内政

(1) 閣僚の交代

ア 13日、ディアスカネル大統領の提案により、グスタボ・ロドリゲス・ロジェロ農業大臣が任を解かれ、後任としてイダエル・ヘスース・ペレス・ブリト同省第一次官が新大臣として就任した。新第一次官として、ロドルフォ・ゴンサロ・ロドリゲス・ラビオフィウムグループ総裁が就任した。

イ 15日、ラウル・カストロ第一書記及びディアスカネル大統領の提案により、レオポルド・シントラ・フリヤス革命軍事大臣が任を解かれ、後任としてアルバロ・ロペス・ミエラ同省第一次官が新大臣に就任した。

ウ 20日、ディアスカネル大統領の提案により、ロベルト・モラレス・オヘダ副首相が党内の任務に専念するために任を解かれ、ホルヘ・ルイス・ペルドモ・ディレージャ情報通信大臣が副首相に就任した。マイラ・アレビチ・マリネ E T E C S A 総裁が新大臣に就任した。

(2) 食糧生産促進措置の承認

13日、ディアスカネル大統領は、食糧生産を促進するための63の措置が承認され、うち30が優先的又は緊急性を要するものである旨発表した。これらの措置は、主として生産にかかる構造的、組織的問題に対応するためのものであり、農業及び畜産における電気代・水道代の減額等が含まれている。

(3) 第8回共産党大会の開催

16日から19日にかけて、第8回共産党大会が開催されたところ、概要以下のとおり。新型コロナウイルスの影響により、70万人以上の共産党員から選ばれた300人の代表が参加した。

ア ラウル・カストロ第一書記による基調報告

・新型コロナウイルス対応に係る成果は、すべての国民が無償医療にアクセスできる体制が整備された社会主義国家であるからこそ可能となっている。

・国営企業が経済の主要を担うことは社会主義体制の維持にとって必要不可欠。国営企業がより効果的に機能するよう、古く悪い習慣を正す必要がある。キューバでは一部の国民を取り残すようなショック療法は適用されない。

・支払期限を過ぎた債務に関する債権国の対応に謝意を表明。国内経済が回復次第、履行する意思を確認。

・この5年間で米国による攻撃性は激化。新型コロナウイルスへの対応や債務履行にも大きく影響。キューバは米国民を敵として見なしておらず、双方にとって有益な協力関係を構築することができる。

・マドゥーロ・ベネズエラ大統領及びオルテガ・ニカラグア大統領への連帯を表明。プエルトリコの自決権及び独立に対する支持を再確認。この5年間における、中国及び北朝鮮などのアジアの社会主義諸国の政党・政府との関係強化を歓迎。ロシアとの政治的ハイレベルの関係強化を歓迎。EUとは政策対話を通じて相互信頼に基づいた関係を促進。アフリカ諸国への協力・連帯を継続。

・今次党大会において、新しい世代への指導部の移行を完結。ディアスカネル大統領はその一人であり、実績があり、条件を兼ね備えた若き革命家。満足感と祖国の未来への信頼とともに第一書記としての自分の任務は完結し、党指導部に残るという提案は受け入れない。

イ 委員会

基調報告の後、3つの委員会にて、経済と社会（マレーロ首相主宰）、イデオロギーと党の機能（マチャド・ベントウーラ第二書記主宰）、幹部政策（ディアスカネル大統領主宰）について議論が行われ、関連決議が採択された。

ウ 党指導部人事

ラウル・カストロは16日の時点で引退を表明し、19日に正式に引退、ディアスカネルが新第一書記に就任した。新政治局員は計14名（第8回党大会前の17名から解任8名、新任5名）。今回の人事により、所謂「革命世代」は指導部から去った。

2 外交

（1）ディアスカネル大統領とボリスフ・ロシア副首相との会談

1日、ミゲル・ディアスカネル大統領は、ロシア・キューバ両政府間経済・貿易及び科学技術協力委員会に出席するためにキューバを訪問中のユーリー・ボリスフ・ロシア副首相と会談を行った。会談では、両国の良好な政治的関係が強調され、二国間の経済、貿易、財政及び協力関係を振り返った。

（2）中国による新型コロナウイルス対策に係る支援

1日、中国から約20トン分の医療器材がキューバに到着した。中国からキュ

ーバに対する医療器材及び医療用品の供与は累計900トン以上に及び、12回に分けて運輸された。

(3) バトツェツェグ・モンゴル外務大臣との会談

1日、ラウル・デルガド駐モンゴル・キューバ大使は、バトムンフ・バトツェツェグ・モンゴル外務大臣を表敬訪問した。会談において、バトツェツェグ外務大臣は、新型コロナウイルスに対抗するためのモンゴルの措置を説明しつつ、キューバ産の複数のワクチンが成果をあげている点を強調した。また、同外務大臣は、これらのワクチンの準備が整い次第、購入することへの関心を示した。デルガド大使は、米国政府による封鎖との闘いに対するモンゴル政府及び国民の恒常的な支持に対し謝意を表明した。

(4) 米務省人権報告書に対する非難メッセージの発出

5日、カルロス・フェルナンデス・デ・コッシーオ外務省米国総局長は、Timothy Zuniga-Brown 駐キューバ米国臨時代理大使に対し、2020年米務省人権報告書における、キューバに対する虚偽かつ政治化された記述を拒絶する旨伝達した。フェルナンデス・デ・コッシーオ総局長は、米国は、主権と自決権を擁護し米国政府の意向に従わない国々を攻撃するために、人権という非常にセンシティブなテーマを利用している旨強調し、報告書上の記述は恣意的かつ一方的であり真実とは異なる非難である旨強調した。

(5) 保健医療分野に関するキューバ・モンゴル間の協力

6日、キューバ・モンゴル間の保健医療分野の協力覚書の署名式が開催され、Enkhbold Sereevjav モンゴル保健大臣とラウル・デルガド駐モンゴル・キューバ大使が署名を行った。署名式にて、Enkhbold 保健大臣からは、キューバの保健医療分野での発展及び成果はモンゴル国民の中でもよく認知されており、キューバで口腔外科を学んだモンゴル人はその分野の主導者である旨強調した。デルガド駐モンゴル・キューバ大使は、両国にとって有益となる協力関係を引き続き強化していくキューバ政府の意志を強調した。

(6) インドネシア及び東ティモールに対するお見舞いメッセージの発出

6日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、自身のツイッターにて、インドネシア及び東ティモールを襲った豪雨による破壊的な被害に対するお見舞いメッセージを発信した。

(7) キューバ・イラン外務省政策協議

7日、エミリオ・ロサダ・ガルシア二国間総局長は、Reza Nazari Ahari イラン外務省米州局長との間でキューバ・イラン外務省政策協議をオンライン方式で実施した。協議において、双方は二国間及び多国間の共通の関心事項について議論するとともに、ハイレベル間の政策対話を引き続き促進し、両国の共通の関心事項である経済、貿易及び協力関係を推進していく意志を再確認した。ロサダ・ガルシア二国間総局長は、米国による経済、貿易、金融封鎖を解除するためのキューバに対する不変的な支持に対し謝意を表明した。

(8) ガボンへの医療団派遣

12日、新たに159名のキューバ人医療専門家がガボンに到着した。同専門家は、すでにガボンにて活動しているキューバ人医療団に合流し、ガボン人専門家とともに、同国の医療体制強化に努める。

(9) マレー口首相の経済社会理事会ハイレベル・セグメントへの出席

12日、マレー口首相は、オンライン方式で開催された経済社会理事会ハイレベル・セグメントに参加し、概要以下の演説を行った。

ア 新型コロナウイルスによる危機は、先進国と開発途上国の格差を拡大し、不公平、不平等、国際的に非民主的な財政システムを転換する必要性を露呈した。

イ キューバは、米国による経済・貿易・金融封鎖に最も長く苦しめられている。前政権では240以上の措置が承認され、今もなお継続。これらの措置は、我が国の持続可能な開発の主たる障害となっている。

ウ 世界貿易機関の設立から25年、発展のためのドーハ・ラウンドは麻痺し、途上国のための特別かつ差別的な取決めは幻想と化している。

エ 今こそ、先進国は、植民地主義、不公平な紛争及び資源と環境の略奪による人類に対する歴史的な債務を清算すべき。

(10) ジョセフ・グレナダ外務大臣との会談

13日、イライダ・ゲレロ・スニガ駐グレナダ・キューバ大使は、キューバ・グレナダ外交関係樹立42周年を記念して、オリバー・ジョセフ・グレナダ外務大臣と会談を行った。ジョセフ外務大臣は、両国の良好な関係について強調し、米国による対キューバ経済・貿易・金融封鎖に反対するというグレナダの立場を再確認した。また、同大臣は、キューバの利用協力に対し謝意を表明した。

(11) ロドリゲス外務大臣のイベロアメリカ外相会合出席

15日、ロドリゲス外務大臣は、オンライン方式で開催されたイベロアメリカ

外相会合に参加した。ロドリゲス外務大臣は、米国による経済・貿易・金融封鎖はキューバの発展の権利の主たる障害となっている旨強調し、参加国にとって、科学イノベーション分野の促進におけるイベロアメリカの協力の重要性について強調した。

(12) ディアスカネル第一書記就任に対する祝辞

19日のディアスカネル党第一書記の就任に際し、ニコラス・マドゥーロ・ベネズエラ大統領、ウラジミール・プーチン・ロシア大統領、習近平中国国家主席、グエン・フー・チョン・ベトナム共産党書記長、金正恩朝鮮労働党委員長、アレクサンドル・ルカシェンコ・ベラルーシ大統領、古屋圭司・日本キューバ友好議連会長等が祝辞を伝達した。

(13) パナマによる新型コロナウイルス対策に係る支援

20日、パナマ民主革命党は、キューバでのワクチン開発プロセスに貢献するための医療器材を供与した。

(14) チャヴシュオール・トルコ外務大臣との会談

20日、ルイス・アモロス・ヌニェス駐トルコ・キューバ大使は、メヴリュット・チャヴシュオール・トルコ外務大臣と会談を行った。会談で双方は、両国の政治・経済関係について議論を行った。チャヴシュオール外務大臣は、第8回共産党大会の成果及びディアスカネル第一書記の就任に対する祝意を表明した。ヌニェス大使は、党大会の成果について説明しつつ、米国による対キューバ封鎖の負の影響について現状を説明した。

(15) 宇都副大臣との会談

21日、ミゲル・アンヘル・ラミレス駐日キューバ大使は、宇都副大臣と会談を行った。会談中、双方は新型コロナウイルスとの闘いについて意見交換を行った。ラミレス大使は、キューバ産ワクチンの状況について説明した。宇都副大臣は、様々な分野において引き続きキューバとの関係を強化していく意志を再確認し、第8回共産党大会におけるディアスカネル第一書記の就任に祝意を表明した。

(16) ディアスカネル大統領のイベロアメリカサミット出席

21日、ディアスカネル大統領は、オンライン方式で開催されたイベロアメリカサミットに出席し、概要以下の演説を行った。

ア 破壊的な感染拡大は地球上の何百万人もの人々の生活を悪化させた。持続

可能な発展には、先進国の政治的意志、連帯、協力及び経済の透明性が必要。

イ 医療・社会保障制度、教育、科学技術及び資源は皆のために利用可能であるべき。キューバは約5種のワクチンを開発し、2021年中にすべての国民へのワクチン接種を終えることが期待されている。

ウ 感染拡大中も、米国による経済・貿易・金融封鎖は激化し、キューバ国内の社会・政治的不安定化を図るための暴力・違反行為に対する資金援助を行った。政府の正当性はその国民の意志と連帯から生まれ、外国の承認により生じるモノではない。ベネズエラ国民の意志を尊重すべきだと主張する者は、ベネズエラが主権国家であることを再認識すべきだ。

(17) セント・ビンセント及びグレナディーン諸島への人道支援

21日、キューバは、セント・ビンセント及びグレナディーン諸島における火山の噴火に際し、人道支援として飲料水、飲料水保存タンク、防ガスマスク、及び6名からなる医療団を派遣した。すでに派遣されている医療団48名も被災者の支援に加わった。

(18) チェット・グリーン・アンティグア・バーブーダ外務大臣との会談

22日、マリア・エステル・フィフェ駐アンティグア・バーブーダ・キューバ大使は、チェット・グリーン外務大臣と会談した。双方は二国間関係にとって関心のある様々な分野について意見交換を行い、特に、アンティグア・バーブーダにて20年以上協力しているキューバ人医療団や、開発途上国が直面する課題、新型コロナウイルスワクチンの迅速な入手の必要性等について意見交換が行われた。グリーン外務大臣は、米国の封鎖解除に対する国際社会の要請を全面的に支持することを再確認した。

(19) ロシアによる支援

23日、ロシアは国連世界食糧計画(WFP)事務所を通じて、キューバに対し、ヒマワリ油253トン及び小麦粉430トン(合計100万米ドル相当)を供与した。

(20) キューバ・ウクライナ政策協議

26日、キューバとウクライナはオンライン方式で政策協議を開催した。キューバ側はアナヤンシ・ロドリゲス外務次官が代表を務めた。協議において、双方は、2022年に外交関係樹立30周年を迎える両国の歴史的な連帯関係について再確認し、引き続き共通の関心分野における協力を強化していくことで一致した。双方は、新型コロナウイルスとの闘いにおける協力の可能性についても

協議した。

(21) 「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト」への出席

26日、アナヤンシ・ロドリゲス外務次官は、国際移住機関及び国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(CEPAL)によりオンライン方式で開催された「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト」に出席した。ロドリゲス外務次官は、米国による米キューバ間移住の政治化が、不規則かつ危険な移住を促すインセンティブになっている旨強調した。

(22) キューバ・メキシコ首脳電話会談

27日、ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて、ロペス・オブラドル・メキシコ大統領と電話会談を行い、同大統領によるキューバ人医療協力団に対する賞賛に謝意を表明し、二国間関係を拡大していくことを再確認するとともに、新型コロナウイルスのワクチンについて意見交換を行った旨発信した。

(23) 韓国による新型コロナウイルス対策に係る支援

28日、韓国は、ユニセフを通じ、医療従事者を支援するために25万枚のマスクをキューバに供与した。

(24) キューバ・クロアチア第2回政策協議

29日、キューバとクロアチアは、オンライン方式で第2回政策協議を開催した。キューバ側はエミリオ・ロサダ・ガルシア二国間総局長、クロアチア側はPeter Mihatov クロアチア外務省政務局長が代表した。協議では、2022年に外交関係樹立30周年を迎える良好な二国間関係について確認し、政策協議や経済・貿易・協力関係を強化するための行動について議論を実施した。キューバ側は、「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議に対するクロアチアの恒常的な支持に対し謝意を表明した。

(25) キューバ・ドミニカ間の保健分野に関する覚書署名

29日、キューバとドミニカは、両保健省の間で保健分野に関する覚書の署名を行った。署名はウリセス・アランス・フェルナンデス駐ドミニカ・キューバ大使とIrving McIntyre ドミニカ保健大臣との間で行われた。署名式にはケネス・ダルー・ドミニカ外務大臣等が出席し、キューバの医療協力及び人材育成協力に対する謝意を表明した。

(26) ソラー・アルゼンチン外務・通商・宗務大臣との会談

29日、ペドロ・パブロ・プラダ駐アルゼンチン・キューバ大使は、フェリペ・ソラー・アルゼンチン外務・通商・宗務大臣と会談を行った。会談では、新型コロナウイルスの流行による世界的な医療危機について議論した。双方は、特に、医療分野について両国の関係強化の重要性について再確認した。

(27) マレー口首相のユーラシア経済連合首脳会議出席

29日から30日にオンライン方式で開催されたユーラシア経済連合首脳会議に、マヌエル・マレー口首相が出席し、概要以下の演説を行った。

ア キューバを同連合のオブザーバー国として承認していただいたことに感謝。キューバは、2025年までのユーラシア経済統合発展戦略、及びキューバの「2030年に向けた経済社会開発計画」の実施にあたり、加盟国との経済貿易、金融協力の重要性を認識しており、加盟国と協力する意思を再確認する。

イ 新型コロナウイルスにより引き起こされた多方面での危機は、貿易戦争、国際法違反の強硬的かつ一方的手段により、更に悪化した。この状況の中で、キューバは、米国による経済・貿易・金融封鎖の激化にも直面してきた。この措置はバイデン政権下でも維持されている。加盟国によるキューバへの支持に謝意を表明する。

ウ 新型コロナウイルスとの闘いにおいて、キューバ産ワクチンにより加盟国に協力する準備がある。

エ キューバは、ユーラシア経済連合に対するサービス業の輸出拡大及びキューバへの外国投資にも関心を持っている。キューバは、加盟国との観光分野における協力拡大にも尽力していく。また、加盟国とキューバ各都市間の航空便の拡大を行う準備がある。

(28) 新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

4月は、新型コロナウイルス感染症対策としての医療団は新たに派遣されなかった。

3 新型コロナウイルス

(1) 新型コロナウイルス感染状況等（4月30日23：59時点）

ア 感染者累計：107622名

イ 死亡者数：654名

ウ 退院者数：101475名

エ 自国帰国者数：54名

オ 国外搬送者数：2名

カ 入院中：5437名（うち、危篤37名、重篤40名）

（2）キューバにおけるワクチン開発

19日、ハバナ防衛理事会は、接種開始日は未定としつつ、4月24日までに県内のワクチン接種開始準備を完了する旨発表した。

（3）キューバにおける変異株拡大

21日、ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて、「科学者たちは、国内において南アフリカ型変異株が拡大していると決定づけた」旨発信した。

（了）